

全県に吹かせよう！田中耕太郎「オレンジの風」 「オレンジ対話」を広げ、サポーターをどんどんつくり出そう



「憲法どおりの兵庫にむけて！」 田中耕太郎サポーターズ ニュース

二〇〇九年六月二十一日 第十三号
憲法県政の会

TEL 〇七八 三六一 一八〇五
FAX 〇七八 三六一 一八四
(部内資料)

いつせい街頭宣伝の成功を

憲法県政の会では、22日の駅頭いつせい宣伝に続き、選挙戦全体の最大の作戦として、29日(月)に「夕焼けオレンジ大作戦」(いつせい夕立、お帰り宣伝)を提起しています。仕事帰りの人たちを対象に、駅頭での夕立宣伝です。全地域で話し合い具体化しましょう。

全駅頭をいつせいにオレンジグッズで埋めることによって、有権者の中で話題が広がる知事選挙への大きな関心の高まり、変化が広がるに違いありません。そのことが終盤に向けて大きな波及効果が生まれてきます。

オレンジのほり、メガホン、オレンジグッズの着用(帽子、バンダナ、バッチやTシャツ・ウインドブレカーなど何でも結構です)など、どこでもオレンジが目立つ工夫をお願いします。プラスターの活用も効果的です。

実施時間は、通常の5時ごろ〜7時ごろだけにこだわらず、思い切って8時〜9時台の宣伝で、連呼でなく「お疲れ様」「おかせりなさい」とささやく作戦も効果的です。全地域で話し合い、具体化しましょう。

【青年サポーターズ】20日、元町演説会宣伝で大活躍！ 「最低賃金知っている？」「時給せめて900円にしてほしい」

青年も「今の県政変えたい」とがんばっています。20日演説会の事前宣伝では、シールアンケートで、最賃問題で対話をしました。対話になったあるカップルは、定時制高校にかよっていました。



「昼間は、吉野家で働いているけど、収入は月8万円。一人暮らしで家賃は4万円。親は母親だけで体調を崩して生活保護を受けている。家賃を滞納しているけれどもなかなか頼れない。いまの時給は800円ほど。せめて900円ぐらいにしてほしい」と切実な状況を話してくれました」

私たちは、「ぼくらは、いま時給1000円をめざして運動している。知事選挙で、ぼくらの願いをかなえるためにがんばってくれる人が県知事になってくれたらいいね。ぜひ、県知事選挙も注目してみてね」と話しました。そして「本当にけっ こうたいへんだと思うし、ぜひまた相談してきてね」とこちらの連絡先を伝えました。

「昨日の宣伝で、一人のおじさんが『派遣なんて、努力してないからそうなるんや!』



青年を代表して、関学の上園隆さんが演説

と言ってきました。青年の2人に1人非正規の仕事しかないのに、個人の努力の問題というのには本当に腹が立ちます。働いても給料が安くて生きていくのが大変なのに。青年の『今』も『未来』も守ってくれる田中耕太郎知事誕生をめざして頑張ります!!」と民青の力重智之委員長は語っています。



宝塚の会：20日午前19人、夕方34人で宣伝(上)、神戸民商：21日13日人で2時間の地域メガホン宣伝(右)



このニュースは「会」の活動内容を掲載して、加盟団体、地域の会と会員みなさんにお届けするものです。このニュースを受け取った団体、地域の会は構成員に届けてください。メール登録されている加盟団体、地域の会にはPDFでも送信しています。

20日元町大丸前の こくた演説 の大要

20日、神戸・元町大丸前で、日本共産党のこくた恵二国対委員長が行った、田中候補応援演説の骨子をまとめました。演説、対話などの参考にして下さい。

* * *



「雇用破壊ストップを」、後期高齢者医療制度など、「社会保障の切り捨て止めて」の声もあふれています。中小企業への支援も緊急の課題です。兵庫県の県民生活アンケート調査でも、「老後に不安を感じますか」が76%にのぼる一方、「去年より生活が向上したと思う」はわずか16.8%と、くらしの深刻さがはっきりと現れています。

現職の知事は、「関東大震災が起きればチャンス」という発言をして有名になりました。「これでは死んだものが浮かばれません。知事を許せない」とう怒りが上がったのも当然です。

今度の選挙戦の対決点は、国の悪政がくらしを直撃する中、県民に冷たい「オール与党」の相乗り県政か、県民の暮らしと営業を守る田中耕太郎候補かという選択です。

「憲法県政の会」と田中耕太郎さんは、県民の暮らしと営業に寄り添うあたたかい県政を、と政策を発表しています。第一に、福祉と医療最優先の県政をつくらうと呼びかけています。現職の知事が、新行革プランで削減したのは、老人医療費助成194億円、乳幼児医療費助成79億、重度障害者医療助成78億、私学高校補助48億と、挙げれば切りがない、弱い者いじめをしています。政府税制調査会の委員として「消費税をあげるべき」の主張もしています。これに対し田中さんは、後期高齢者医療制度の廃止を国に求める。県立病院や但馬を始めとする公立病院と保健所を充実させる、もちろん増税反対を掲げています。

二つ目には、兵庫県政は税金のムダづかいをやめ、くらし、営業をまもろうと呼びかけています。神戸空港と関西空港二期工事に1兆円以上、神戸空港と関西空港を結ぶ海底トンネル計画には7000億円など、ムダ使いの一方、大震災被災者への支援金はわずかでした。

三つ目には、大企業の横暴にモノを言い、労働者・中小企業・地域経済応援する知事かどうかという点です。パナソニックへの誘致補助金は218億円です。この会社は剰余金が3兆7000億円もありながら、労働者の5%に当たる1万5000人を削減しようとしているのです。一方、地場産業のケミカルシューズ業界は震災負債の37%をまだ返せていません。時給1000条例の制定をはじめ、公共事業を生活密着型して、地域経済に賑わいをもどそうではありませんか。

平和の問題も重要です。核兵器廃絶への流れが大きく広がる中、非核・平和宣言を世界に発信する田中知事を実現させましょう。

【三田の会】個人演説会六十四人参加
二十一日午後開いた演説会には六十四名が参加しました。「会」会長の林さん「民商に無くてはならない田中さんだからこそ、憲法を活かして県民のために働いてくれる」と訴えました。中田市議員は三田保健所・土木出張所が廃止されて、インフルエンザや県道問題で市



【灘区の会】二十人以上でオレンジ宣伝、今日、早朝前駅頭宣伝
二十日午後JR六甲道駅前、オレンジ宣伝に取り組み二〇人以上が参加しました。オレンジのメガホン、パーカー、スカーフ姿で、プラスタも活用し、付近にオレンジの風をふかせました。その後の耕太郎さんの街頭演説も大いに盛りあがり、二十二日は早朝前駅頭宣伝に取り組みます。

【垂水区の会】個人演説会で切実な願いが次々と
二十日午後の個人演説会では、「医療費が高くて医者にかかれない。ぜひ中学生まで無料に」（婦人）、「民商のアンケートでは、『資金繰り』が順調と答えた方はわずか5%。大企業よりも地域の業者を大事にする県政に」（業者）など切実な要求が出されました。県議を十六年務めた毛利りんさんからは、「知事が県民ではなく財界を向いているはつきりしている。県政の転換を」と訴えました。

16:50 西宮・阪神西宮駅南
17:30 JR西宮駅夕立

個人演説会にご参加を

22日(月)

- 19:00 伊丹市・ラスターホール
- 19:00 尼崎市・武庫地区会館
- 19:00 淡路市・洲本第2小学校
- 19:00 三木市・教育センター
- 19:00 相生市・相生市民会館

23日(火)

- 19:00 東灘区・うはらホール
- 19:00 灘区・灘小学校
- 18:30 西区・玉津北部集会所
- 19:00 播磨・播磨中央公民館
- 19:30 姫路・林田公民館和室



田中候補 街頭からの訴え

22日(月)

- 8:00 西区・西神中央駅前立
- 9:30 西区・学園都市駅前
- 10:00 須磨・妙法寺駅前
- 10:40 須磨・名谷駅前
- 11:30 垂水・福田コープ前
- 12:10 垂水・新多聞コープ前
- 14:10 淡路市・東浦マルナカ前
- 15:10 淡路市・志筑キンキ前
- 16:00 洲本市・ジャスコ前
- 16:50 南あわじ市・三原リベラル前
- 17:50 南あわじ市・福良ローソン前

23日(火)

- 7:30 JR宝塚駅
- 9:40 猪名川・日生ケーズ電気前
- 10:10 川西・平木谷公園
- 10:40 川西・畦野コープ前
- 11:40 鴻池関西スーパー
- 12:20 イズミヤ
- 15:00 中央商店街・三和商店街
モモタロー

県民生活がおびやかされている事態を告発。瀬戸恵子さん（日本共産党県常任委員）は、「国の悪政から県民を守る知事を」と、練木県会議員は、県民を守る6つのマニフェストの内容を話し、必ず押し上げてようと訴えました。